

(別紙)

ぎふ建設人材育成リーディング企業【建設業者】

認定指標取組内容

企業名

＊＊建設(株)

担当者

岐阜 太郎

TEL

--****

FAX

--****

e-mail

e-mai@email.com

申請した項目について、確認書類のどの部分が根拠となっているのか記載する。

評価区分

評価項目

達成度

取組内容

申請欄
※該当箇所○

審査者採点欄
※申請者は記入しない

確認書類(チェックリスト)
※確認書類のどの部分が根拠となるのかチェックを入れ記載すること

I 労働環境の整備・処遇の改善

1 休日・休暇

達成度1又は2

4週8休制又は年間休日数104日以上を設けているか
※直近の一年分とする

法定外の特別有給制度を2つ以上設けているか
休暇名① 誕生日休暇
休暇名② 慶弔休暇
※1: 年次有給休暇利用のもの、前項の年間休日数に含めているものは除く
※2: 就業規則等に「有給である」と明記されていることが必要
※3: 結婚出産、葬式等は「慶弔休暇」として一括りとする
※4: 子の看護休暇、介護休暇といった法定休暇は有給のみ対象

達成度3

完全週休2日制(土・日・祝休み)を設けているか
※土曜・日曜・祝日のすべてが休日であることが必要

I-1 休日・休暇 小計(自己採点に使用してください)

2

2 所定外労働時間

達成度1

過去1年間の社員(建設業従事者)1人当たりの1カ月の平均所定外労働時間が20時間以下であるか

○

達成度2

過去1年間の社員(建設業従事者)1人当たりの1カ月の平均所定外労働時間が15時間以下であるか

○

達成度3

過去1年間の社員(建設業従事者)1人当たりの1カ月の平均所定外労働時間が10時間以下であるか

※社員(建設業従事者)…建設業の部署に在籍する事務職及び技術職を指す(役員及び外国人実習生を含めない)

所定外労働時間: 13.5 時間/月(小数第2位を切捨てて第1位まで記入) 算出期間: 令和6年7月～令和7年6月 ※直近の一年分とする

I-2 所定外労働時間 小計(自己採点に使用してください)

2

3 給与・福利厚生の充実

達成度1～3

正規社員(役員を除く)の全員の給与形態を月給制としているか
※1: 日給を月単位でまとめて支払うような日給月給制は含まない
※2: 就業規則等に明記されていることが必要
※3: 正規社員…役員及び外国人実習生を除いた事務職及び技術職のこと

○

達成度1～3

社員に対し、年2回以上賞与を支給することとしているか
賞与支給月 7 月 12 月
※1: 就業規則等に、年2回支給すること、支給月が明記されていることが必要
※2: 社員…役員及び外国人実習生を除いた事務職及び技術職のこと

○

達成度1～3

法定外の福利厚生制度を3つ以上設けているか
制度名① 慶弔見舞金支給規定
制度名② インフルエンザ予防接種代金支給制度
制度名③ レクリエーション費用支給規定

○

達成している項目について全て○をつけてください。
(例の場合)
所定外労働時間の平均: 13.5時間
→達成度1及び達成度2を満たしている。

※：達成度2については、達成度1を、達成度3については達成度1及び2を達成していなければ加点されません。

I 処遇の改善	3 給与・福利厚生 の充実	達成度1～3	※1:建設業会計上で福利厚生費として計上するものが対象 ※2:就業規則等に明記されていることが必要 ・対象例…慶弔見舞金、レクリエーション費用、被服貸与、法定外の診断項目について実施する健康診断、インフルエンザ予防接種費助成等 ・対象外例…健康保険料、厚生年金保険料、労働保険等の法定福利として計上するもの、通勤手当、退職金			就業規則 (ページ 第 条 第 項) 賃金規定 (ページ 第 条 第 項) 社内規定 (ページ) 社内通知 制度名③ いずれかにチェック 就業規則 (ページ 第 条 第 項) 賃金規定 (ページ 第 条 第 項) 社内規定 (3 ページ) 社内通知		
		I -3 給与・福利厚生制度の充実 小計(自己採点に使用してください)			3			
	評価区分 I 労働環境の整備・処遇改善 合計(I-1、I-2、I-3合計)(自己採点に使用してください)				7			
II 将来の建設産業を担う人材の確保・育成	1 若者・女性の雇用	達成度1	過去3年間に於いて、若者や女性等に自社をPRし、入職希望者の増加を図るために、就職説明会等を行っているか(以下のいずれか1つ以上を実施しているか) ○合同企業説明会 行事名 オール岐阜・企業フェス 実施日 *月*日 ○高校等の就職説明会 行事名 実施日 ○その他のPR活動 内容・実施日について記載 ※1:企画したものの参加者がいなかった場合は、認められない ※2:求職者に対して直接就職活動を行うことが必要(サイトへの会社情報掲載、単なるチラシ配布等は対象外) ※3:オンラインによる就職説明会は、リアルタイムで生徒との交流を図ることが可能なもののみ認める ※4:「オール企業フェス」は合同企業説明会にて認める ※5:ぎふ建設人材育成・確保連携協議会主催の「建設関連企業と学生の交流サロン」については、高校等の就職説明会にて認める	○		○合同企業説明会(注:下記①②いずれも) ① 日時、内容が明記されたもの(依頼文、案内文等) ② 実施したことが分かるもの(報告書、写真等) ○高校等の就職説明会(注:下記①②いずれも) ① 日時、内容が明記されたもの(依頼文、案内文等) ② 実施したことが分かるもの(報告書、写真等) ○その他のPR活動(注:下記①②いずれも) ① 日時、内容が明記されたもの(依頼文、案内文等) ② 実施したことが分かるもの(報告書、写真等)		
		達成度2	過去3年間に於いて29歳以下の技術者・技能者を一定数(会社に在籍している全ての技術者・技能者数の5%以上)を採用した (ア)3年間の29歳以下採用数 5 人 (イ)現在会社に在籍している全ての技術者・技能者数 60 人 (ア)÷(イ)×100= 8.3 % ※1:小数第2位を切り捨てて第1位まで記入する ※2:技術者…現場の管理を行う者 技能者…現場で作業員として従事する者 ※3:役員及び外国人実習生を含めない ※4:申請時点で採用した者が既に退職していたとしても、採用した事実があれば人数に含めてよい	○		(注:下記①②いずれも) ① 採用年月日、性別、生年月日が記載された社員名簿(※役員・技術者・技能者が誰か分かるようにすること) ② 採用者の保険証の写又は雇用通知書の写(採用年月日、性別、生年月日が分かるもの)		
		達成度3	過去3年間に於いて女性の技術者・技能者を採用した	○				
		II-1 若者・女性の雇用 小計(自己採点に使用してください)				3		

※：達成度2については、達成度1を、達成度3については達成度1及び2を達成していなければ加点されません。

Ⅱ 将来の建設産業を担う人材の確保・育成	2 社員のスキルアップに対する支援	達成度1又は2	過去1年間において、社員（建設業従事者）の3割以上を、業務に必要な研修等に参加させた（業務として派遣したものに限る） (ア) 研修等受講者数(実人数) 25 人 (イ) 現在会社に在籍している社員数(建設業従事者数) 60 人 (ア)÷(イ)×100＝ 41.7 % ※1：小数第2位を切り捨てて第1位まで記入する ※2：社員（建設業従事者）…建設業の部署に在籍する事務職及び技術職を指す（役員及び外国人実習生を含めない） ※3：1人の社員が複数の研修に参加している場合でも、(ア)の研修等受講者数は1人と数える。	○		(注：下記①②いずれも) ① ■研修等の名称及び社員の受講を確認できるもの（受講証明書、受講者名簿等）（注：研修先作成のもの） ② ■役職名が記載された社員名簿
			資格試験の受験費用や資格取得のための講座受験費用等を助成する仕組みがある ※就業規則等に明記されていることが必要	○		いずれかにチェック ■就業規則（ 12 ページ 第 31 条 第 項） ☐ 賃金規定（ ページ 第 条 第 項） ☐ 社内規定（ ページ） ☐ 社内通知
		達成度3	資格取得状況に応じ、給与等の処遇に反映させることとしている ※1：就業規則等に明記されていることが必要 ※2：受験費用等の経費のみを支給する手当等は除く	○		いずれかにチェック ■就業規則（ 12 ページ 第 33 条 第 項） ☐ 賃金規定（ ページ 第 条 第 項） ☐ 社内規定（ ページ） ☐ 社内通知
		Ⅱ-2 社員のスキルアップに対する支援 小計（自己採点に使用してください）			3	
	評価区分 Ⅱ 将来の建設産業を担う人材の確保・育成 合計（Ⅱ-1、Ⅱ-2合計）（自己採点に使用してください）			6		
Ⅲ 魅力ある建設現場等の環境づくり	1 生産性の向上に対する取組み	達成度1	過去1年間において、ICTに関する知識・技能の習得のため、セミナーや研修等に参加した 研修名 実施日 ※1：「Ⅱ-2 社員のスキルアップに対する支援」で申請された研修との重複を認める ※2：役員が研修に参加した場合も認める			(注：下記①②いずれも) ① ☐ 研修等の名称及び社員の受講を確認できるもの（受講証明書、受講者名簿等）（注：研修先作成のもの） ② ☐ 役職名が記載された社員名簿
		達成度2	過去3年間において、ICTを活用した工事の施工を行った 工事名 ＊＊河川改修工事 工期 令和6年10月から令和7年1月 ICTの活用方法 マシンコントロールシステム ※1：基準日時点で工事のICTに係る部分を施工していることが必要（受注をしても施工を行っていない場合は認められない） ※2：受注した工事のICTに係る部分を下請けに出した場合、受注した元請け業者と実際にICT部分を施工した下請け業者どちらも施工したものと認められる（そもそも元請業者がICT工事として受注せずに、下請けが独自の判断でICTを活用した場合は、元請業者は施工したものと認められない）	○		(注：下記①②いずれも) ① ■工事の契約書又は仕様書 ② ■写真その他ICTを活用した工事と分かる書類
		達成度3	過去3年間において、自社でCT機器を導入し、現場で活用した 工事名 工期 ICTの活用方法 導入したICT機器 ※1：基準日時点で工事を施工していることが必要（受注をしても施工を行っていない場合は認められない） ※2：当該工事のICTに係る部分について、自社で施工していることが必要（下請業者が施工している場合は認められない）			(注：下記①②③いずれも) ① ☐ ICT機器を購入（又はリース）したことが分かる領収書等 ② ☐ 工事の契約書又は仕様書 ③ ☐ 写真その他ICTを活用した工事と分かる書類
		【参考】ICTの活用例 レーザースキャナー等を用いた3次元測量、ドローンによる測量、トータルステーションによる3次元データの作成、BIM/CIMの活用、マシンコントロールによる施工、転圧管理システムを用いた締固め（電子黒板、ASP、ドローンを使った空撮、クライマーは認められない）				
	Ⅲ-1 生産性の向上に対する取組み 小計（自己採点に使用してください）			0		

下記の達成度が未達成の場合は加点されません。
この場合、達成度1の項目を達成する必要があります。

※：達成度2については、達成度1を、達成度3については達成度1及び2を達成していなければ加点されません。

Ⅲ 魅力ある建設現場等の環境づくり	2 現場の安全管理	達成度1	過去1年間において、自社管理の現場で、労働災害が発生する事故を起こしていない			○		
		達成度2	過去3年間において、自社管理の現場で、労働災害が発生する事故を起こしていない			○		
		達成度3	過去5年間において、自社管理の現場で、労働災害が発生する事故を起こしていない			○		
		無事故期間	5 年(端数切捨)	(令和2年3月1日～ 令和7年7月1日)				
		※労働安全衛生規則第97条により、労働基準監督署への報告が必要な事故等のうち、休業4日以上のもの						
	Ⅲ-2 現場の安全管理 小計(自己採点に使用してください)					3		
	3 建設産業の魅力発信	達成度1又は2	過去1年間に、これからの建設業を担う若者等に、建設業の魅力を伝えるため、現場見学会やインターンシップ等を行った実績があるか。					※「実施日」「受け入れ対象者」「実施内容」の3点が確認できることが必要
		達成度1	達成度1…以下のいずれか1つ実施			○		○建設現場見学会(注:下記①②いずれも) ① ■日時、内容が明記されたもの(依頼文、案内文等) ② ■実施したことが分かるもの(報告書、写真等)
		達成度2	達成度2…以下のいずれか2つ以上実施			○		○中学生の職場体験(注:下記①②いずれも) ① ■日時、内容が明記されたもの(依頼文、案内文等) ② ■実施したことが分かるもの(報告書、写真等)
			○建設現場見学会 実施日 令和6年10月12日 場所 ** 道路改修工事 対象者 ** 高校**科2年生					○高校生等のインターンシップ(注:下記①②いずれも) ① □日時、内容が明記されたもの(依頼文、案内文等) ② □実施したことが分かるもの(報告書、写真等)
○中学生の職場体験 実施期間 令和7年5月12日 場所 本社社内								
○高校生等のインターンシップ 実施日 場所								
対象者								
達成度3	過去1年間において、その他、建設業の魅力発信について、他の模範となるようなオリジナルな取り組み、情報発信等を実施している。 ○オリジナルな取り組み内容					□オリジナルの取り組み内容が分かる資料		
	【オリジナルな取組例】 ・代表取締役が大学で講師として地元建設業の魅力について講演を行った ・地元の小学校に対して、建設業の魅力を伝えるために出前授業を行った ・学生を対象にした建設業の仕事紹介及び会社見学会を行った							
Ⅲ-3 建設業の魅力発信 小計(自己採点に使用してください)					2			
評価区分 Ⅲ 魅力ある建設現場等の環境づくり 合計(Ⅲ-1、Ⅲ-2、Ⅲ-3合計)(自己採点に使用してください)					5			

自己採点欄	評価区分Ⅰ(小計)	7	点	評価区分Ⅱ(小計)	6	点	評価区分Ⅲ(小計)	5	点	総合計(評価区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの合計)	18	点
採点者採点欄	評価区分Ⅰ(小計)		点	評価区分Ⅱ(小計)		点	評価区分Ⅲ(小計)		点	総合計(評価区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの合計)		点

本書に記載した事項は、事実と相違ないことを証明します。

令和 7年 8月 1日

企業名
代表者名

** 建設(株)
岐阜 太郎

印

印

※：達成度2については、達成度1を、達成度3については達成度1及び2を達成していなければ加点されません。